

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月18日

事業所名 アダージョ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		壁面を効率的に利用し、グループ活動のスペースを優先確保しています。	2.47㎡あたり1人以上の法令を遵守しつつ適切なスペースを確保しています。当事業所の訓練室は3人前後で65㎡と十分なスペースです。
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		駐車場から建物入口まではスロープがあり、そして室内においてもフラットにバリアフリー化されています。手すりや車いす対応は問題がないため非対応です。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		分かりやすく整理された空間であり、注意集中できるように清潔でシンプルな配置配色で統一されています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々、スカイプを通じて報告連絡相談を項目ごとにアップして、翌日に協議しています。	日々業務の振り返りを昼礼で行い、あぶりだされた問題を都度で改善実施しています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	保護者や関係各所との情報共有の中で改善点を洗い出し実施しています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		人事考課等やミーティング、規定研修、外部研修で向上を促しています。	事業所内において、療育に不可欠な机上学習や実践的トレーニングを年間を通じ計画的に取り入れていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとに子供や保護者のニーズ、課題のアセスメントを取り協議します。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		複数のアセスメントツールを総合して使用しています。	将来を見据えて必要となるアセスメントツールを標準化していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		アセスメントを元に優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定し、児童発達支援計画を作成しています。発達支援や家族支援、地域支援をしっかりと考慮して、必要な項目に加味して具体的な支援内容を設定しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間を通じて計画的に季節や行事等も加味し、効果的に楽しく学べるよう努めています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		個々の指導員で打ち合わせて分担しています。	昼のミーティングにて、1日の予定や個々支援について全体共有も図ります。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	日々、スカイプを通じて報告連絡相談を項目ごとにアップして、翌日に協議しています。	昼のミーティングにて、前日の振り返りと改善、今日の支援の打ち合わせを行います。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育日誌は日々しっかりと記録しています。	
20 定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にもモニタリングと打ち合わせで判断しています。	隔月で支援計画実施度とモニタリングを確認し、振り返り改善を行っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	受入に向けて環境を整えていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	受入に向けて環境を整えていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		関係作りを行い情報交換や研修が受けられるようにしていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナが落ち着きましたら、特別療育として時間が取れる日ができるので、相互に参加交流できることを計画していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	定期の会合やミーティングに、時々参加しています。Zoomで参加できる環境にはなっています。	地域の各種支援の協議会には積極的に関わっていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	年間の計画を通じて取り組んでいます。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	日々の報告連絡相談から必要な保護者へのアプローチを行い、事業所内相談等を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	茶話会やベアトレ、かがやき手帳を書く会を通して、支援を行っています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○	送迎時に情報共有しながら、事業所内相談を声掛けしています。茶話会等でも支援しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	相談や情報交換の場として茶話会を月1回催しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している		○	個人情報が記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。	PC端末等はパスワード設定をしています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	児童と保護者の状態に応じて、視覚的情報や分かりやすい言葉を使ってコミュニケーションを交わします。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナが落ち着いたら、特別療育として時間が取れる日ができるので、相互に参加交流できることを計画していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例が起こった際には、報告書作成保管、職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			研修を行って適切な対応を出来るようにしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	該当する児童がいないため具体的にはやってません。	